

論文審査の結果の要旨

氏名：遠藤 嵩大

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：慢性特発性蕁麻疹患者に対するシクロスポリンの治療効果を評価するバイオマーカーの同定

審査委員：（主査） 教授 権 寧 博

（副査） 教授 相澤 信 教授 浅井 聡

教授 山上 聡

蕁麻疹は、その病態には未知の部分が多く、症状の現れ方、および治療の内容も症例により大きな違いがあり、特に重症例においては副作用を伴う免疫抑制薬が使用されるなど、患者選択を慎重に行うことが必要であるとされている。しかしながら、日本皮膚科学会から刊行されているガイドラインにおいては、シクロスポリンを中心とした免疫抑制薬と抗 IgE 抗体治療薬である omalizumab による薬物療法の双方が重症蕁麻疹において推奨されているが、実際、どのような患者がこれら治療法に対するレスポnderであるかを明らかにする手段が見いだせていなかった。本研究は、このような臨床的課題を克服するために、難治性疾患である特発性慢性蕁麻疹の生物学的製剤と免疫抑制剤の薬剤選択をする上で重要なバイオマーカーの同定と、治療法についての提案を行っている。本研究では、自験例 34 症例の臨床症例の集計から、それぞれの治療のレスポンスに関する臨床的指標を明らかにし、自己血清皮内テスト（autologous serum skin test; ASST）と、血清 IgE レベルの2つの指標を組み合わせることで、omalizumab 治療を優先すべき患者群のとシクロスポリン治療を優先すべき患者群を分別可能であることを明らかにしている。論文は Allergology International に受理され掲載済みであり、研究内容も臨床的な意義のあるものである。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

平成 31 年 2 月 27 日